

第127回福島県新型コロナウイルス感染症対策本部員会議

- 1 日時 令和4年4月14日（木）17:00～17:15
- 2 場所 危機管理センター災害対策本部会議室（ペーパーレス会議）
- 3 議事

(1) 新型コロナウイルス感染者の状況等について

(保健福祉部長)

4ページ、資料1をお願いします。

【資料1】

4月13日現在の療養者の状況であります。

入院者が237人、うち重症者が2人となっています。

療養者数は、合計で5,533人となっています。

次に、6ページ、新規陽性者の状況ですが、

人口10万人当たりの1週間の新規陽性者数は228.24人で、先月23日から増加が続いており、過去最多となっています。

次に、8ページ、病床使用率は31.9%で、先月29日以降30%を超えています。

次に、10ページ、人口10万人当たりの療養者数ですが、301.83人で、今月9日をピークに、高い水準となっております。

次に、13ページ、特に感染が拡大している6市における、人口10万人当たりの1週間の新規陽性者数です。

郡山市は、今週400人を2回超えており、須賀川市は、減少傾向にあるものの、300人を超える高い水準を維持しております。

会津若松市は、300人に近い水準となっているほか、二本松市が、増加に転じて、これに近づいております。

いわき市は、徐々に増加しているほか、新たに、喜多方市が、200人を超えております。

次に、14ページ、今ほどの6市を除く各市における、人口10万人当たりの直近1週間の新規陽性者数です。

本宮市は、200人を下回りましたが、福島市は、増加傾向にあり、200人に近づいております。

新たに、田村市が、100人を超えております。

次に、15ページ、モニタリング指標です。

「入院率」(4.3%)、「人口10万人当たりの療養者数」(301.83人)、

「PCR陽性率」(21.5%)、

「人口10万人当たりの1週間の新規陽性者数」(228.24人)が、レベル3

「病床の使用率」(31.9%)、「感染経路不明者の割合」(62.2%)が、レベル2、

「重症者用の病床使用率」(4.3%)が、レベル1となっています。

次に、16ページです。

後遺症の相談・受診体制についてです。

本県において、後遺症にお悩みの方は、まず、かかりつけ医や身近な医療機関を受診していただき、必要に応じて専門的な医療機関を紹介するなどの体制を整えております。

説明は、以上です。

(2) 新型コロナワクチンの接種状況について

18ページ、資料3をご覧ください。

【資料3】

1の接種実績につきましては、4月13日時点で、3回目接種の回数が、941,537回、全人口に対する接種率は50.6%となっております。

なお、資料右側の囲みの部分、想定される4月末累計の対象者、約116万人に対する接種率は81.2%となっております。

次ページをご覧ください。

県民の皆様への新型コロナワクチン接種のお願いです。

追加接種(3回目接種)により、オミクロン株感染に対する「発症予防効果」や「入院予防効果」が回復するとされております。

追加接種の順番を迎えられた際には、できるだけ早めに3回目のワクチン接種をお願いします。2回目の接種から6か月を経過した方は、予約に空きがあれば接種が可能となります。

なお、12歳以上17歳以下の方も3回目接種ができるようになっております。この年代の方々へは、ファイザー社ワクチンを使用します。

ワクチンの接種は、小さなお子さんや高齢の方への感染リスクを減らすことにもつな

がります。

1・2回目接種がまだの方も接種が可能ですので、接種をご検討ください。

次ページをご覧ください。国が作成した3回目接種に係る「高校生・大学生などの皆様」向けのリーフレットになります。

このリーフレットを活用し、昨日、各市町村へ3回目接種に係る周知を依頼したところであり、併せて、県のホームページに掲載し、周知を図っております。

また、資料はございませんが、県では現在、福島市・郡山市・いわき市・喜多方市の4市4会場で大規模接種を実施しており、1・2回目接種で職域接種を実施した企業や大学等の皆さまへ、大規模接種会場での「3回目接種」をご案内しているところであります。

今後も、あらゆる機会を捉えて、3回目接種の周知に努めてまいります。

説明は以上です。

(3) 感染拡大防止重点対策について

(知事)

【はじめに】

はじめに、患者さんお一人お一人に寄り添い、感染症対策や医療の現場で御尽力をしていただいている医療関係者の皆さんと、急速な感染の再拡大を防ぐため、長期間にわたり、御理解と御協力を頂いている県民の皆さん、事業者の皆さんに、心から感謝申し上げます。

【現状認識】

全国では、1日当たりの新規陽性者数が、5万人前後で推移するなど、年度替わり等に伴う人流の増加やオミクロン株BA.2系統への急速な置き換わりが進んだことにより、感染が再拡大しています。

本県における新規陽性者数も、先月23日から連続して前の週の同じ曜日を上回り、昨日には732人と過去最多を更新し、直近1週間における1日当たりの新規陽性者数の平均値も600人に迫る勢いとなっているなど、高止まりの状況が続いています。

特に「郡山市、須賀川市」の2市においては、人口10万人当たりの1週間の新規陽性者数が300人を超える状況が続いております。

また、医療提供体制の負荷を示す「病床使用率」についても、先月29日から継続的に30%を超える水準で推移しています。

このまま新規陽性者数の増加傾向が続けば、「病床使用率」や「重傷者病床の使用率」

も悪化し、医療提供体制への負荷が増えることが強く懸念されます。

【感染拡大防止重点対策の延長と感染拡大防止緊急総点検について】

現在、本県では、県全域を対象とした「感染拡大防止重点対策」を継続していますが、感染が急速に再拡大している状況にあることから、本対策を来月15日まで延長することとします。

また、これに併せ、新たに「感染拡大防止緊急総点検」として、県民の皆さんに感染対策の徹底を広く呼びかけることといたします。

具体的には、一つ目の対策として、御家庭用に加え、新たに事業所向けに作成した感染対策チェックリストにより、正しいマスクの着用や手洗いなどの対策、換気や消毒などの衛生管理の方法を確認していただき、新たな気づきや対策のゆるみがないかなど、改めて感染対策の点検をお願いするものです。

二つ目の対策は、感染が拡大している地域を中心に街頭啓発を行い、マスクを外す機会の多い店舗などに対して、感染予防についての御協力の呼び掛けを行います。

三つ目の対策は、御家庭向けの感染予防メッセージを、市町村の防災無線や広報車で、繰り返し広報していただき、広く県民の皆さんに感染予防の呼び掛けを行います。

四つ目の対策は、事業所向けの感染予防に関する注意点や対策を社内放送で周知していただくことにより、職場において感染が拡大しない環境づくりをお願いするものです。

以上の対策を通じて、感染の再拡大を何としても防いでいきたいと考えておりますので、引き続き、県民の皆さんお一人お一人の御理解と御協力をお願いいたします。

(商工労働部長)

今ほど、知事からの説明にあった「県内事業所向けの社内放送」につきましては、新型コロナウイルス感染症対策本部で作成した感染予防のメッセージを商工三団体等を通じて、それぞれの会員事業所に配布し、事業所向けチェックリストと併せその活用と対策の徹底を本日依頼することとしております。

今後とも、感染拡大防止と事業活動の両立を図るための取組を進めてまいります。

以上です。

(4) その他

(金光教授)

本県は新規陽性者が732名と、またワースト記録を更新してしまいました。

また、クラスターも今月に入って非常に多くなっています。

児童施設、保育施設、あるいは、数はそれほど多くはないですが、飲食店も散見されているように思います。

このオミクロン株、軽症といっても70歳以上は1%以上重症化します。

また、コロナ病床はまだ逼迫しているとまでは言えないかもしれませんが、コロナの流行の影響によって、心筋梗塞や交通外傷など、コロナ以外の患者さんが病院で診てもらいにくくなっています。

ぜひ県民の皆様にはここで踏ん張っていただいて、特に若い方を含めて、発熱やせきのような症状が出た場合はもちろん、「ちょっといつもと体調が違うな」という時も、早めの受診をしていただいて、拡げない対策をお願いしたいと思います。

(知事)

【会議総括】

本県では、先週、1日当たりの新規陽性者数が600人を超える日が連続し、昨日は初めて700人を超えるなど、感染が急速に拡大しており、今後、感染力が強いオミクロン株BA.2への置き換わりが更に進んでいくことが懸念されるなど、依然として予断を許さない状況にあります。

県民の皆さん、事業者の皆さんにおいては、急激な感染拡大を少しでも緩やかにするため、お一人お一人が警戒を緩めることなく、「感染拡大防止重点対策」に取り組んでいただくよう、改めてお願いします。

また、これから大型連休を迎えます。各地で感染が拡大している状況を踏まえ、移動を検討される際は、御自身の体調はもちろんのこと、移動先の感染情報などを十分把握の上、慎重に御判断いただきますようお願いいたします。

県としても、「感染拡大の波を最小限に抑え込む」との決意のもと、1日も早く穏やかな日常を取り戻し、社会活動・経済活動の活性化を図っていくことができるよう全力で取り組んでまいります。

各部局、各地方本部、各保健所においては、感染急拡大への強い危機感を持って、県民の皆さんの命と健康を守るため、迅速・的確に対応を進めてください。